

福祉用具「開発支援プロジェクト」 製品開発相談会

浜松医工連携研究会では、2020年に6兆円もの市場に拡大するといわれる介護関連製品・サービス市場に地域企業が参入する足がかりをえるため、福祉用具レンタル業界の大手である㈱ヤマシタコーポレーション（静岡市）と共同で、2013年4月に福祉用具「開発支援プロジェクト」を立ち上げました。

開発範囲を介護保険の適用となる「福祉用具レンタル」・「特定福祉用具販売」の対象種目（下記囲み参照）として、ヤマシタコーポレーションが持つ全国販売ネットワークを活用した製品化とレンタル・販売を目指します。在宅介護分野のニーズや介護製品・サービスを熟知した同社とともに、製品開発を一緒に進めませんか？

開催日 毎月第3水曜日 13:30～17:00

相談員 ヤマシタコーポレーション担当者

会場 浜松商工会議所 3階会議室

対象 浜松商工会議所浜松医工連携研究会
会員※で、福祉用具の開発&製品化を
目指す方

※相談会申込とあわせて研究会への入会も
可能です。（年会費：2万円）

（浜松地域新産業創出会議にご登録の

企業は年会費1万円でご入会が可能です）

相談案件 ・介護保険上の適用種目であること
・ヤマシタコーポレーションとの専売
契約・優先販売が可能であること

申込方法 下記申込書に相談内容を明記の上
開発する製品の資料を添えて、開催日の
1週間前までにお申込ください。

申込・問合先 浜松商工会議所 工業振興課
（TEL452-1116／FAX459-3535）

開発範囲

■福祉用具レンタルの対象種目

（厚生労働省告示より抜粋）

車いす、車いす付属品、特殊寝台、特殊寝台付属品、床ずれ防止用具、体位変換器、手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえ、認知症老人徘徊感知器、移動用リフト（つり具の部分を除く）、自動排泄処理装置（交換可能部品を除く）

■特定福祉用具販売の対象種目

（厚生労働省告示より抜粋）

腰掛便座、自動排泄処理装置の交換可能部品、入浴補助用具、簡易浴槽、移動用リスト（つり具部分）

プロジェクトの流れ・イメージ例

情報収集

- ・介護保険・国の動向、先行事例（展示会、セミナー）
- ・ニーズ情報収集（介護施設等）
- ・開発に関して随時相談

テーマ研究

- ・ヤマシタコーポレーションがニーズ（共同開発テーマ）発表
- ・研究会でテーマ別研究

試作・提案

- ・単独又は研究会の企業が共同で試作品の開発
- ・ニーズ発表会以外の持込みは随時受付

製品化

- ・採用会議を経てカタログ掲載へ
- ・エコールグループに3年間専売契約・優先販売権

FAX459-3535 福祉用具「開発支援プロジェクト」製品開発相談会 参加申込書

| | | | | | |
|------|--|----|-----|--------|--|
| 事業所名 | | | | | |
| 所在地 | | | | | |
| TEL | | | FAX | | |
| 担当者名 | | 役職 | | E-mail | |
| 相談内容 | | | | | |

浜松商工会議所工業振興課あて（TEL452-1116／FAX459-3535） E-mail:kogyo@hamamatsu-cci.or.jp

※ご記入いただいた内容は、当プロジェクトの実施のために利用する他、業務連絡や情報提供のために利用することがありますが、第三者に公開するものではありません。